

今週の活動から

5月16日(月)・17日(火)に岡山市で開催の「市町村議会議員研修会」に参加。10年前の三位一体改革が、現在の市財政や国民生活に及ぼす影響について学びました。隣の倉敷市では伊勢志摩サミット前のG7倉敷教育大臣会合が開催されていて、厳しい警戒態勢が感じられました。



(上: 釘丸久子議員)

5月29日(日)「県央相模川サミット六市町村合同クリーンキャンペーン」が開催されました。朝7時半に開始式。自治会や企業など約2500人が参加。デイキャンプの焚き火跡にたばこの吸い殻が目立ちました。早朝の清掃活動にさわやかな汗を流しました。



(下: 栗山香代子議員)

6月の法律相談

6月28日(火) 1時～

前日迄の連絡を!

6月議会を前に研修イン岡山

5月16日(月)・17日(火)の2日間、岡山市岡山商工会議所で、自治体研究社主催の「6月議会を前に鍛えよう「政策力」」と題して、第36回市町村議会議員研修会がありました。

5月16日(月) 13:00～17:00
記念講演

「三位一体改革」後の10年を振り返り自治体財政の未来を展望する

講師: 川瀬光義氏(京都府立

大学公共政策学部教授)



講演する川瀬光義教授

2004年から06年までの3年間に行われた「三位一体改革」と称する財政改革の内容を再確認し、改革後10年が過ぎた現状を踏まえて、自治体財政をめぐる諸問題を考える。財政をよくする王道は、地域経済をよくし、税収を増やすことである。今日、条件不利地域であっても、再生可能エネルギーに着目するなど、地域経済の好循環を実現している自治体は決して少なくない。こうした自治体の取組を推進していく。

5月17日(火) 9:00～15:30
市町村から国保は消えない
地域で医療保障をつくる視点

講師: 長友重輝氏

(津市立三重短期大学教授)

日本の医療保障は公的医療保険による皆保険体制と医療の提供体制がある。現在、国は地域の医療・介護をめぐる抜本的な制度改革が進行中である。その両輪となるのが「地域包括ケア」と「地域医療構想」。計画や方針に住民をあてはめるのではなく、地域の医療需要や住民の生活問題を科学的に分析・把握し、住民と共の地域づくりを進めることが社会的な役割である。

社会保障とは、私たちが心に体に無理をせず、働き生きることができ、社会づくりを志向するもの。頑張りなくともよい社会をつくる。

地方創生と公共施設等総合管理計画

講師: 中山徹氏

(奈良女子大学大学院教授)

人口減少、高齢化、東京一極集中などの問題がある。国からは、人口ビジョン(2060年の目標値)、総合戦略(人口ビジョンを実現するための施策の5箇年計画)、地域公共交通網形成、空き家対策、公共施設等総合管理計画等が言われている。地方創生の取り組み視点として、住民が欠かせない。

6月定例会議今後の予定

- | | | |
|----|--------|------------|
| 6月 | 3日(金) | 本会議 (一般質問) |
| | 6日(月) | 本会議 (一般質問) |
| | 7日(火) | 本会議 (一般質問) |
| | 9日(木) | 総務企画常任委員会 |
| | 10日(金) | 市民福祉常任委員会 |
| | 13日(月) | 環境教育常任委員会 |
| | 14日(火) | 都市経済常任委員会 |
| | 21日(火) | 議会運営委・本会議 |
- 9時開会。ぜひ傍聴においでください

話題あれこれ

熊本地震を教訓に

防災用備蓄品を整備

今議会でも補正予算案で出された中に、防災用備蓄品整備事業費3686万円が計上されています。

厚木市は、今年4月の熊本地震で益城町に救援物資とともに職員を派遣しました。現地状況を見て市の防災用備蓄品を見直しました。

今回新たに整備するものは、避難用テント(2人用)約2千張とシート、エコノミー症候群防止用タイツ約2千足です。さらにブルーシートも増やします。また支援で送った毛布や肌着セットを補充します。

(参考写真)市販の2人用テント

